

推進会議の構成団体間の情報共有を目的として発行している「あったか子育てニュースレター」。本号は子育てにやさしい職場づくり行動宣言企業の取組として、丹菱株式会社から、先月開催の会議で報告いただいた内容を共有いたします。

発行：令和6年4月
子育て環境日本一丹後推進会議
(事務局：丹後広域振興局)



子育てにやさしい職場づくりの取組紹介

丹菱（たんりょう）株式会社

丹菱株式会社は、与謝野町で織物業を営む従業員7名の会社。令和5年度には、府の「多様な働き方推進事業費補助金」も活用し、子育てにやさしい職場づくりに向けた環境整備にも取り組まれました。

代表取締役の糸井宏輔さんに、その思いなどを伺いました。

所在地：与謝野町字岩滝1788

設立：昭和35年

従業員：7名

業種：織物

電話：0772-46-3365



■「辞めずに働き続けられる」職場をつくりたい

一 「子育て環境日本一に向けた職場づくり」に取り組まれた背景を教えてください

私自身、従業員でもある妻と一緒に3人の子どもの子育て中ですが、PTA会長など子どもを通じて地域と関わる中で、子育て支援を意識することが多くありました。現在育休中の社員が間もなく復帰予定ということもあり、子育てしながら頑張っている社員も、それを応援する他の社員も、気持ちよく仕事ができるような職場環境づくりが重要だと考え、取り組んでいます。

一 具体的には、どんな取組をされていますか

時間単位の有給休暇がとれる仕組みを整えたことと、事業所内に託児スペースを作りました。子育てをしていると、朝は元気に出ていったのに、急に熱が出て迎えにいけないようなこともあります。子どもを連れて安心して仕事ができる環境を整えることで、少しでも長く働き続けてもらえる職場になればと思っています。

一 実際に取り組まれてみて、良かったことなどはありますか

時間単位の有給休暇は、従業員にとっても喜ばれています。子育てに限らず、一番大事にしたいと思っているのは、一度うちの会社に来てくれた社員が、辞めずに長く働き続けられること。

先日、他社の経営者と話したときに「ハローワーク求人で来た人がすぐ辞めてしまう」ということを皆が口をそろえて言っていたけれど、実は、うちの会社、ハローワークを通じて就職してくれた人、皆、辞めずに勤めていただいているんです。

子育てに限らず、社員一人ひとりの状況に応じて、働きやすい職場環境を整えていくことは、経営者として大切なことだと感じています。



取材メモ

「公募で来てくれた社員が皆定着している。」という糸井社長のお話には、人材不足・人材確保が課題と言われる丹後において、働きやすい職場づくりを進めることの重要性に改めて気づかされました。

丹菱株式会社さんが活用された府の「多様な働き方推進事業費補助金」は、令和6年度も4月から募集を開始しています（募集期間：R6.4.19～R6.11.29）。

「子育て」を切り口に取組を進めることは、介護など、他の事情を抱える従業員にとっても働き続けられる職場づくりにつながります。この機会に、一度、検討してみたいかがでしょうか。補助対象事業など、詳細は、ホームページをご覧ください。

